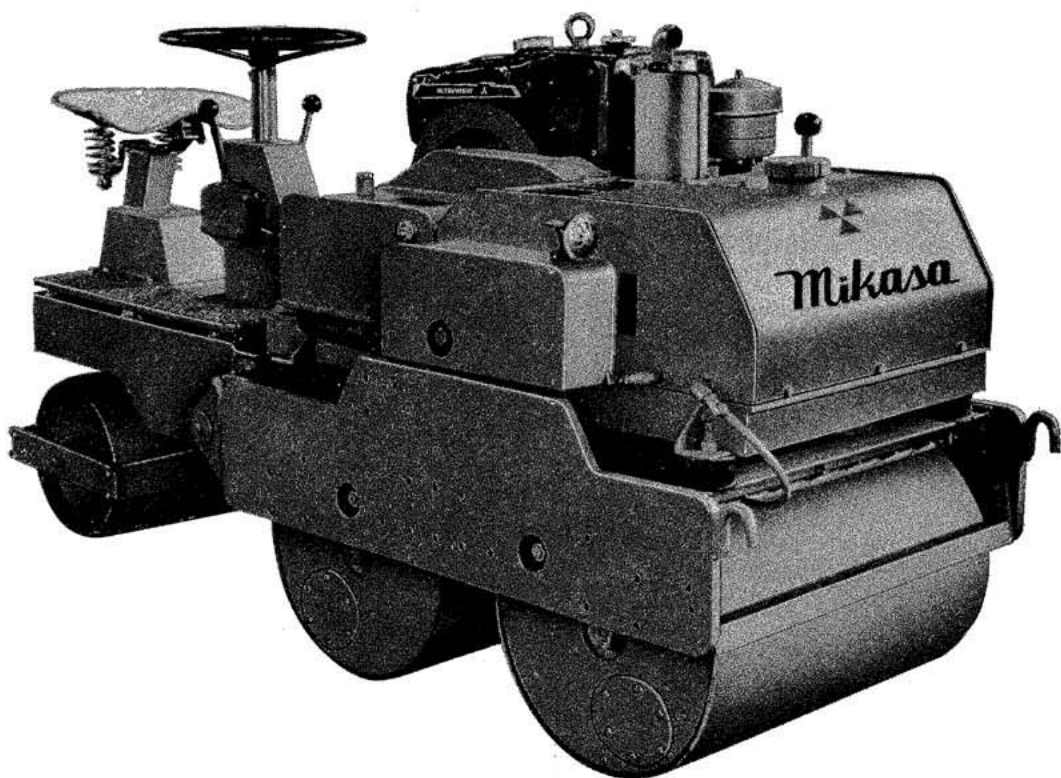


三輪式ステアリング装置をした

塔乗型 (MDR-9型)

ナインローラー 愈々登場



本機の五大特長

- 一、三輪式の塔乗型振動ローラーである。
- 二、ディーゼルでもガソリンでもエンジンが自由に選べる。
- 三、座席に腰掛けたままで毎時0〜3 軒の範囲で無段変速ができる。
- 四、道路側面一杯の締固め作業ができる。
- 五、アスファルト舗装の仕上げが楽にしかも奇麗にできる。

三笠ニューズ

発行所

東京都千代田区豊洲1-4-13

三笠産業株式会社

電話 東京(292)1411 大代表

テレックス 222-4607

郵便番号 101 番

PR 旬報 年4回発行

このほど50年度新製品として発売以来国内をはじめ国外に於て、素晴らしい人気を博しているMDR-9型ナインローラーに搭乗型が出来ました。

このローラーは、三輪式振動ローラーとも言えるスタイルで、単にパーハンドルの付いたステアリング装置を取付けたものとは違い、ガッチリと重量感に溢れていると言ったのが始めて見た誰かの印象です。

勿論三つのドラムが振動する訳ではなくて、前方の二輪に振動が伝わるようになっていて、座席の下にドラムは案内輪で、これで方向を変えようという仕組みになっているのです。案内輪の直径はトレンチローラーのドラムと同じです。

ローラー本体のパワーラインは、ナインローラーをそっくりそのまま利用して、これとステアリング装置とを接続する個所に防振ゴムを配置し、オペレーターへの振動の伝播を軽減するよう意を用いています。

また、ローラー本体との接続個所を軸として後方の案内輪(ドラム)を上下に揺動し、更にドラムのセンタビンを中心に左右にドラムを傾けることができる構造になっています。

つまり前二輪のドラムが牽引して振動を伝え、後一輪のドラムが上下左右と、路面の起伏を捉えて適確に進行方向を決めることができるのです。

この場合特に案内輪に大きな荷重がかからないよう工作されているので、ハンドル操作は極めて軽快です。

このような三輪式ステアリング装置を考案した最大の目的は従来のゴム車輪付のものに生じた方向転換の際舵取操作によって、折角仕上げた美麗な路面をこじって傷つけたり、仕上面にタイヤマークを残すことの無いよう配慮されて居ります。

こうして、今まで全く至難とされていたステアリング装置の欠点を、見事にここに解決した搭乗型ナインローラーの完成は、今後のアスファルト舗装の躍進に打ってつけのローラーであると言えるでしょう。

このステアリング装置は、既に御使用中のパーハンドルのMDR-9型ナインローラーに取付けることができるようにローラー本体のサイドプレートに、ステアリング装置を連結するためのネジが加工されています。しかしこれを現場で簡単に脱着するという訳には参りません。それは、エンジン、トランスミッション、起振装置等そのすべてが座席に腰掛けたまま操作ができるように、そのまわりにレバー類を配置し、コントロールワイヤで結ばれ、遠隔操作の出来るようになっているのです。ですからこれらの接続および調整のためにも、パーハンドル式ナインローラーを搭乗式に改造される際は、メーカーまたは代理店に御相談なさるようお願いいたします。

このほか道路端の縁石または掘割ぎりぎりまでの締固めも果したまま作業ができますから大変便利で、尚炎天下の作業を強い日光からまもるために、座席の上方に日除けの幌を取付けられるように別にオプションとして用意してあります。この独創的なステアリング装置は目下特許出願中です。

ローラー本体の方はさすがの優れた特長を備えていますが特に本機に油圧トランスミッションを使用していることが搭乗式の場合も大変プラスしていると申せましょう。

それはエンジンの回転数を一定にしながら、手許の走行レバーの倒し加減だけで、速度を変化させたり、前後進せたりする事もできるの、零からエックリとスタートさせれば、作業への衝撃も少なく、疲労も軽減され、また、坂道での作業では走行レバーを中立にすれば、油圧回路がロックされて、自動的にブレーキが掛かるようになっていて、大変に安全です。エンジンが回っていれば坂の途中でそのまま停止させて置くこともできます。

エンジンは水冷ディーゼルエンジン、かつらNM85-31 A型、ガソリンエンジンはロビンEY33-2 D型を標準として使っていますが、ご希望によりヤンマーやクボタ製のものも乗せられるのでその利用価値は一段と高まりつつあります。

これらのエンジンスタート方式はクランクまたはロープによる手動式ですが、ご希望に依り特別装備品としてセルモーターを取付け、ボタンを押すだけでエンジンをスタートさせることもできます。

作業中ローラーから離れるような場合は、必ずローラーに歯止めをして、事故の防止に心掛けて下さい。この搭乗型ナインローラーは十一月より発売の予定です。

ステアリング装置仕様

ステアリング装置の全巾 600%

ステアリング装置のドラム

巾×径 500%×355.6%

座席高さ 780%

ハンドル高さ 1,090%

ステアリング装置の重量

約205kg

MDR-9 G (D) に搭乗装置を取付けた寸法 () 内は幌付

全 長 2,150%(2,220%)

全 高 G型 1,160%(1,940%)

D型 1,140%()

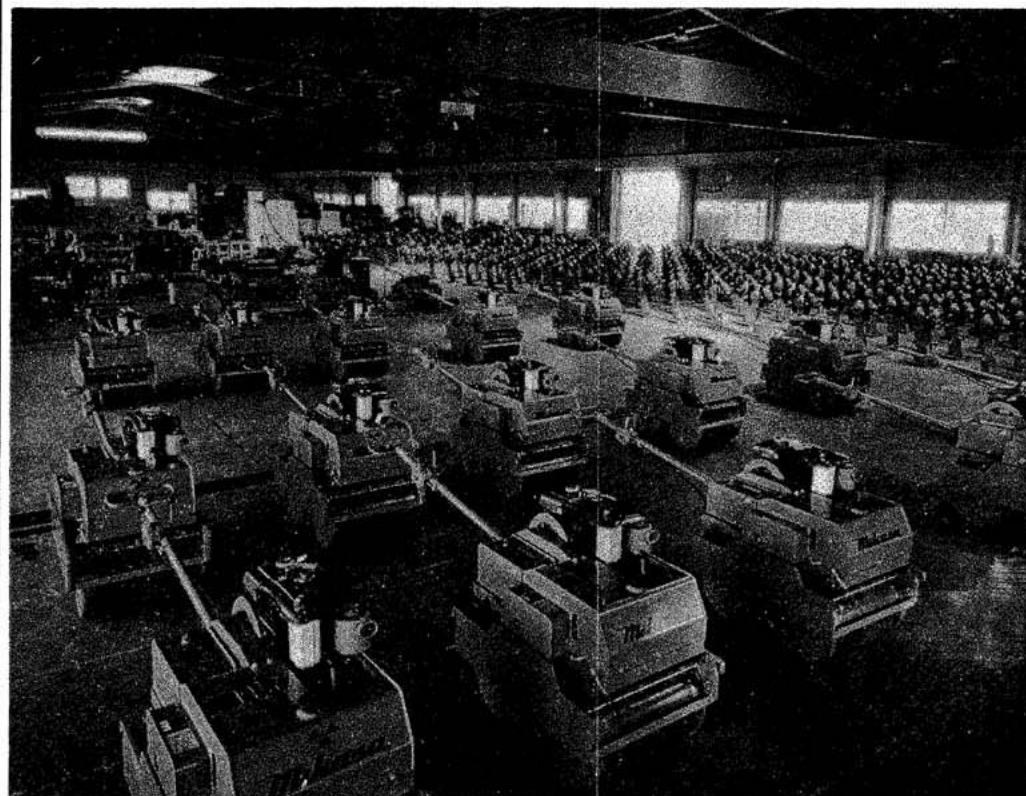
全 巾 795%

重 量 G型 1,040kg

D型 1,090kg



日除けの幌を取付けたMDR-9 D型



海外への出荷を待つMDR-9 D型ナインローラー

MVP-2E型

誕生

フレキシブル水中ポンプ



三笠のコンクリートカッターシリーズの中で小型機として、水タンクとフレキシブルの一体構造というユニークなスタイルのMCD11型が、此度アップカット切削方式によるコンクリートカッターとしてフルモデルチェンジしました。

従来のカッターと最も異なる点は、従来のダウンカット(切下げ)方式

図に示す通りダイヤモンドブレードが矢印の方向に回転して、舗装路面を切り上げてゆく新しい切削方式を採用したこと。これを名付けてアップカット(切上げ)方式と言います。

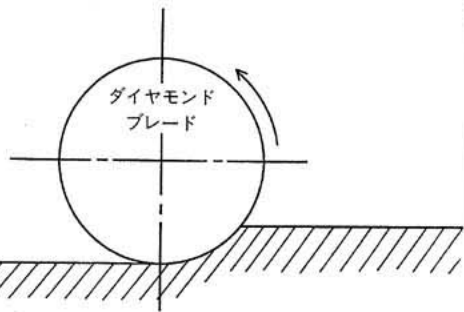
この切削方式を採用した利点は、機体後方のフットペダルに足をかけ、これを押しながら安定した作業の出来るようになったこと。

従来のカッターと最も異なる点は、従来のダウンカット(切下げ)方式

のエンジン盤でも使えるフレキシブル水中ポンプとして定評あるミカサ水中ポンプに、このたびは吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。

このポンプ本体は特殊軽合金で造られていて、ポンプだけの重量は僅か5kgと軽量化されたため、持ち運びには努力を要せず、またストレート(ゴミ除け)の高さを低く造ってあるので、マンホール等の排水に使った場合にもほとんど余すところなく排出することが出来ます。

この水中ポンプを駆動する原動機は、EY18113DGエンジンを装着した軽便エンジン盤がポンプ用として従来からご愛用頂いていますが、従来のカッターと異なり、ミカサ水中ポンプは、吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。



始めに手許ハンドルの下にあるデッスで切り削る深さを決めて置けば、自動的に切り進むことが出来ます。この昇降装置はスクリーン式なのでスムーズに切込めます。

また、切削時にはダイヤモンドブレードの冷却と、コンクリートの切粉を排出するために水を噴出させていますが、従来のブレードを切下げる切削方式ですとダイヤモンドブレードで跳ね飛ばされた飛沫やコンクリートの粉末が後方に飛散して作業者はじめエンジンにもかかり、甚しい時には故障の原因ともなっていました。今度これが前方に飛散するのでこの点大に改善されて、少しもよごれることなく、きれいに仕事ができるようになりました。それと同時に切り進んでいった切削溝の内も散水されてきれいになるので、目地充填剤をつめる時などには都合の良いようになっています。

尚ブレードカバーの前面に折たみでできるラインゲージが取り付けられて、切削方向を定める目安となります。またこのラインゲージはブレードを冷却した水が飛び散らないよう、更にブレードカバーの角度や位置を変えるにはネジを操作しなくてもワンタッチでどの位置にも固定させることが出来ます。

このように排出することが出来るポンプとエンジンを継ぐフレキシブルのものをそのまま使用してありますから、互換性があり、それが生産性の向上に寄与するばかりでなく、多目的使用にも適し、ミカサ45型用のリッドシャフトがあれば、これにポンプを接続してMVP112E型水中ポンプとすることも可能です。

ミカサ45型用のリッドシャフトの長さは4mと6mの二種類あるので、MVP112E型水中ポンプの長さ4mに合わせたリッドシャフトの長さを5mにしていますが、ご用途に依り6mにすることも出来ます。(75年度総合型録にはリッドシャフトの長さを5mと記載してありますが、これを4mに訂正致します。若し5mをご希望の場合は6mのものをお納めさせて頂きます。)

この水中ポンプを駆動する原動機は、EY18113DGエンジンを装着した軽便エンジン盤がポンプ用として従来からご愛用頂いていますが、従来のカッターと異なり、ミカサ水中ポンプは、吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。

フルモデルチェンジした MCD11U型コンクリートカッター

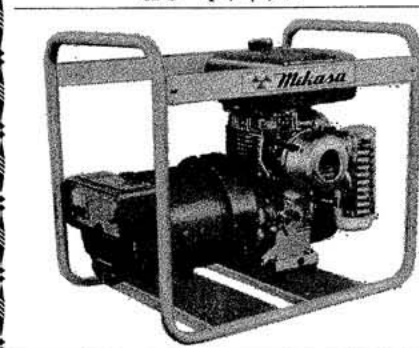
三笠のコンクリートカッターシリーズの中で小型機として、水タンクとフレキシブルの一体構造というユニークなスタイルのMCD11型が、此度アップカット切削方式によるコンクリートカッターとしてフルモデルチェンジしました。

従来のカッターと最も異なる点は、従来のダウンカット(切下げ)方式

のエンジン盤でも使えるフレキシブル水中ポンプとして定評あるミカサ水中ポンプに、このたびは吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。

このポンプ本体は特殊軽合金で造られていて、ポンプだけの重量は僅か5kgと軽量化されたため、持ち運びには努力を要せず、またストレート(ゴミ除け)の高さを低く造ってあるので、マンホール等の排水に使った場合にもほとんど余すところなく排出することが出来ます。

この水中ポンプを駆動する原動機は、EY18113DGエンジンを装着した軽便エンジン盤がポンプ用として従来からご愛用頂いていますが、従来のカッターと異なり、ミカサ水中ポンプは、吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。



三笠小型発電機 MEP112000型登場

今春発表した三笠電動工具機群の良点をそっくりその儘継承しているわけですが、三笠小型発電機MEP112000型の姉妹機として、この度MEP112000型を新たに発売することになりました。

三笠発電機には、特に大型マフラーが装備されて騒音防止に意を用いてありますので、今年四月の新製品発表会場で三笠000型を五台並べて運転してご覧に入れましたところ、少し離れていけば普通に話ができるというところで、ご来場の皆様から静かな発電機として評判になったものがあります。

その席上で、このタイプでもう一まわり大きいものが出来ないか、との御要望を反映して造られたのがMEP112000型です。

従って三笠000型は三笠000型の

回転翼が大きくなった MPT1136型パワートロウエル

新型の床面仕上げ機(パワートロウエル)MPT1136型を、三笠ニューシリーズ第50号に発表しましたところ、各方面より多大の反響がありました。ところがそのなかでパワートロウエルが最も多く使われているアメリカでは回転翼の直径36吋(915mm)のものが必要の中心である、との情報もたらされました。

そこで最近我が社の技術研究所から米国へ出張の際の事実を確かめて参りましたので、国内の需要動向ともならみ合わせた結果、急ぎ設計変更を行い、四板羽根で回転翼の直径915mm(約36吋)のパワートロウエルに造り直して、型式をMPT1136型といたしました。

本機はこの前の33型よりも更に、全体のバランスも良く、ハンドルを軽く上下するだけで、左右に方向を変えることが出来る等、一段と使い易くなっています。

尚この設計変更の際にブレードの傾斜角度を変えるハンドルを右側に

パワーロウエル仕様

型式 MPT-36型

回転翼の直径 910mm (約36")

ブレードの寸法 巾205% 長345%

枚数 4枚

ブレードの回転数 50~100r.p.m

外形寸法 高さ810% 巾1,010% 長さ1,610%

使用エンジン ミカサEY18-3D 5PS 自動遠心クラッチ付

重量 78kg

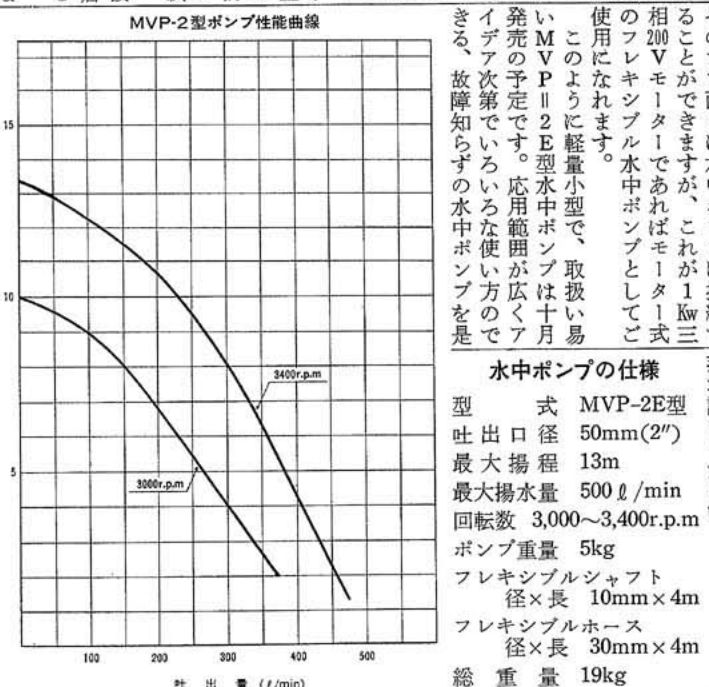
三笠のコンクリートカッターシリーズの中で小型機として、水タンクとフレキシブルの一体構造というユニークなスタイルのMCD11型が、此度アップカット切削方式によるコンクリートカッターとしてフルモデルチェンジしました。

従来のカッターと最も異なる点は、従来のダウンカット(切下げ)方式

のエンジン盤でも使えるフレキシブル水中ポンプとして定評あるミカサ水中ポンプに、このたびは吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。

このポンプ本体は特殊軽合金で造られていて、ポンプだけの重量は僅か5kgと軽量化されたため、持ち運びには努力を要せず、またストレート(ゴミ除け)の高さを低く造ってあるので、マンホール等の排水に使った場合にもほとんど余すところなく排出することが出来ます。

この水中ポンプを駆動する原動機は、EY18113DGエンジンを装着した軽便エンジン盤がポンプ用として従来からご愛用頂いていますが、従来のカッターと異なり、ミカサ水中ポンプは、吐出口径2吋のものが新たに登場しました。既に3吋のものはMVP113E型として多数ご愛用を頂いており、それに昨年発売したミニポンプの愛称を持つ1.5吋の水中ポンプを加えて、今回発表のMVP112E型の完成に依り、ここにフレキシブル水中ポンプのシリーズ化が成りました。



使い易さを増したMPT-36型パワートロウエル

イデルと名前で呼んでいる。彼の公明正大な物の扱い方は国民から信頼され、誰とも話をし、日本から輸入したブルドーザーを自から試運転するなど、気さくな人柄は国民の多くに愛され、支持を得ている。正しい事は権力に負けず貫き、間違いは恥じずに正す、と外国人中にも彼の支持者が多いのは驚く。

キューバは教育熱心な国だとは聞いていたが、私の通訳をしてくれた公団のアンヘルさんという若者は二十六才で後三年間大学へ行くのだという。仕事が終わってからの学校だという。通訳として英語を完全にものにするために五年間の大学教育を受けているのだという。大学を出ると給料も断然良く、地位も良くなるからと頭張っているのだそうだ。奥さんも一緒に大学へ行つて居り、イタリアを一語を勉強しているという。再会を楽しみにお別れした。

帰路メキシコ代理店を訪問し、八月二十二日、三週間の出張を終えて無事日本へ戻ることが出来た。

最後に旅先でお世話になった方々にこの紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

輸出課 藤村

